



平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月15日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL http://gunosy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 福島 良典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 伊藤 光茂 (TEL) (03)6455-4560
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	5,120	40.7	925	48.9	925	49.1	596	9.6
29年5月期第2四半期	3,639	—	621	—	620	—	544	—

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 601百万円 (7.2%) 29年5月期第2四半期 560百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	26.33	24.71
29年5月期第2四半期	24.70	22.92

(注) 平成28年5月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	10,814	8,737	80.5
29年5月期	9,609	8,017	83.2

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 8,708百万円 29年5月期 7,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 平成30年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,746	38.8	2,206	45.4	2,206	45.4	1,475	31.0	64.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期2Q	23,072,200株	29年5月期	22,490,200株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	185,500株	29年5月期	185,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期2Q	22,651,582株	29年5月期2Q	22,036,617株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（29年5月期：185,500株、30年5月期2Q：185,500株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替え表示しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年5月期第2四半期の個別業績（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

個別経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	4,892	38.4	929	39.8	630	6.7	27.86
29年5月期第2四半期	3,534	87.3	664	271.1	591	280.0	26.83

2. 平成30年5月期の個別業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,219	36.6	2,218	37.1	1,531	23.9	68.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が平成28年に56.8%と前年比3.7%増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（総務省調べ）、また、平成28年の広告費は6兆2,880億円と5年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比113.0%の1兆3,100億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度にサービス提供を開始し、第1四半期連結会計期間においてKDDI株式会社との提携を開始した女性向け情報キュレーションサービス「LUCRA（ルクラ）」について、収益化を開始いたしました。また、既存サービスのユーザビリティを高めるべく、引き続き日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行っております。さらに、広告主の新たなニーズに応えるべく新たな商品開発にも注力いたしました。

収益面に関しては、アクティブユーザー数の堅調な積み上がりにより、当第2四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を3,080百万円計上いたしました。また、既存メディアの広告在庫拡大に伴い、アドネットワークに係る売上高が順調に伸長し、当第2四半期連結累計期間で1,789百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費1,110百万円を計上したほか、売上高の伸長に伴い、媒体費用が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,120百万円（前年同四半期比40.7%増）、経常利益925百万円（前年同四半期比49.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益596百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計DL数は当第2四半期連結会計期間末において2,799万DLとなり、前連結会計年度末比で531万DLの増加となりました。

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,205百万円増加し、10,814百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比795百万円の増加）、売掛金の増加（前連結会計年度末比203百万円の増加）、のれんの減少（前連結会計年度末比69百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比222百万円の増加）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて485百万円増加し、2,076百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比220百万円の増加）、流動負債のその他の増加（前連結会計年度末比208百万円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比48百万円の増加）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて719百万円増加し、8,737百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比596百万円の増加）であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べて795百万円増加し、7,372百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、915百万円(前年同四半期は784百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益925百万円の計上、売上債権の増加203百万円、仕入債務の増加220百万円、法人税等の支払額263百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、227百万円(前年同四半期は652百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出217百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により獲得した資金は、107百万円(前年同四半期は43百万円の収入)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入107百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日に公表いたしました平成30年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第2四半期連結会計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間におきましては、1DL当たりの獲得費用、新規DL数、及び1DL当たりの収益性について、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、特にアドネットワークに係る売上高が好調に推移いたしました。

費用につきましては、ユーザーの獲得効率が好調であることを受けて、広告宣伝費を引き続き積極的に投下し、ほぼ計画通りに1,110百万円を計上いたしました。その他の費用につきましても、概ね計画通りに推移いたしました。

今後につきましては、引き続き既存サービスのユーザー規模拡大を目指すとともに、アクティブユーザー数の増加のための新たなコンテンツの展開及びアルゴリズムの精度向上に努めてまいります。また、収益面に関しましては、広告主のニーズをとらえた商品開発を進めるなど、収益向上を目指してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,576	7,372
売掛金	874	1,077
繰延税金資産	75	71
その他	316	376
流動資産合計	7,843	8,897
固定資産		
有形固定資産	106	107
無形固定資産		
のれん	561	492
その他	7	7
無形固定資産合計	568	499
投資その他の資産		
投資有価証券	752	974
繰延税金資産	56	56
その他	281	278
投資その他の資産合計	1,090	1,309
固定資産合計	1,765	1,916
資産合計	9,609	10,814
負債の部		
流動負債		
買掛金	486	707
未払法人税等	315	364
その他	764	972
流動負債合計	1,566	2,043
固定負債		
株式給付引当金	25	33
固定負債合計	25	33
負債合計	1,591	2,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,911	3,965
資本剰余金	3,911	3,965
利益剰余金	429	1,025
自己株式	△199	△199
株主資本合計	8,052	8,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53	△49
その他の包括利益累計額合計	△53	△49
新株予約権	19	29
純資産合計	8,017	8,737
負債純資産合計	9,609	10,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	3,639	5,120
売上原価	1,367	2,263
売上総利益	2,272	2,857
販売費及び一般管理費	1,651	1,932
営業利益	621	925
営業外収益		
受取利息	0	0
講演料収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	—
固定資産売却損	0	—
株式交付費	0	0
その他	0	—
営業外費用合計	1	0
経常利益	620	925
税金等調整前四半期純利益	620	925
法人税、住民税及び事業税	98	325
法人税等調整額	△21	3
法人税等合計	76	328
四半期純利益	544	596
親会社株主に帰属する四半期純利益	544	596

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	544	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	4
その他の包括利益合計	16	4
四半期包括利益	560	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560	601
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	620	925
減価償却費	14	8
のれん償却額	48	69
受取利息	△0	△0
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△144	△203
仕入債務の増減額 (△は減少)	197	220
未払金の増減額 (△は減少)	△69	154
前払費用の増減額 (△は増加)	85	133
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	6	7
その他	114	△138
小計	872	1,178
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△88	△263
営業活動によるキャッシュ・フロー	784	915
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△107	△8
投資有価証券の取得による支出	—	△217
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△406	—
敷金の差入による支出	△140	—
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400	1,500
短期借入金の返済による支出	△403	△1,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	47	107
財務活動によるキャッシュ・フロー	43	107
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176	795
現金及び現金同等物の期首残高	5,369	6,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,546	7,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。